

消費者教育推進委員会（第3回）提出資料

事業名：地域資源の可視化によるエシカル消費教育モデル構築検討事業

実施団体：株式会社 omochi・ 合同会社 COARS

1. 事業の趣旨・目的

成年年齢引き下げに伴い、若年層への消費者教育の重要性が高まる中、従来の「契約知識」や規範的な「エシカル消費」の啓発は、学生にとって「堅苦しい」「自分とは無関係」といった心理的障壁があり、主体的な行動変容に至りにくい課題がある。本事業では、大阪府内の活動団体を教材として活用し、以下の2点を目的とした教育モデルの構築（プロトタイプ開発）を行う。

1. 地域資源の可視化と接続：府内に点在する活動団体を可視化し、学生と地域をつなぐプラットフォームの整備を目指す。
2. 学生へのアプローチ検証：これまで無関心だった層や、意識は高いが敬遠していた層を振り向かせ、学生が「受動的な学習者」から「能動的な実践者」へと変容するためのアプローチ手法の示唆を得る。

2. 現時点の実施内容

今年度は本事業の初年度として、「地域リソースの可視化」と、学生への「ヒアリングによるインサイト発掘」に重点を置いた。

(1) 地域資源の実態調査（団体向け詳細アンケート）

大阪府内で食・地域づくり・環境活動等を先導的に行うキープレイヤー（企業・NPO・教育機関等14団体）に対し、連携実態に関する調査を2026年1月から実施した。

【成果①：消費者教育施策との「分断」の発見】

調査対象は地域活動の中核を担う団体であるにもかかわらず、「消費生活センター・消費者団体」との連携はわずか7.1%に留まった。現場の活動と消費者教育施策が分断されている実態が浮き彫りとなりとなった。

【成果②：モデルへの高い期待】

92.9%の団体が本事業で検討するモデルにポジティブな関心を示していた。これを受け、各団体の特性を整理するためのカオスマップ案を作成した。

(2) 学生へのヒアリング調査（インサイトの抽出）

環境・食・地域活性化等に取り組む学生グループ1団体に対し、2026年2月にヒアリングを実施した。実施計画に基づき、「消費者教育」に対する心理的な障壁や、企業連携における阻害要因を以下の通り言語化した。

【抽出されたインサイト①：心理的障壁】

学生たちは「フードロス削減」や「フェアトレード」等の活動には熱心であるが、それを「消費者教育」とは強く認識していないことが判明した。「消費者教育」という言葉に対し、「契約トラブル防止」「被害者にならないための勉強」「受動的」というイメージを持っており、自分たちの活動（社会貢献・能動的アクション）とは別物であると捉えている。
→示唆：団体が実施している活動と学生を結びつける際に「消費者教育」という言葉を積極的には使わない。あるいは、消費者教育の伝え方を再定義する必要がある。

【抽出されたインサイト②：外部団体との連携の阻害要因】

地域や外部団体との連携意欲は高いものの、「学生扱いされて対等に話せないのではないかという不安」が具体的な行動を阻害していることが明らかになった。
→示唆：連携を促す際に、「連携二一ズ（学生歓迎）」等が可視化された文言の存在が不可欠である。

3. 今後の展開

今年度は限られた期間の中で、「量の拡大」よりも「モデルの質の担保」に注力をし、先進的な活動団体を中心に意見を伺いながら、スピーディにカオスマップ案を作成することを目指した。残りの事業期間で、引き続き団体の実態調査や学生へのヒアリングはできる限り進めつつも、カオスマップ案をたたき台として活用可能性についても声を拾いながら、少しでも多くの団体と学生の連携が促されるマップの土台の構築を目指したい。また、消費者教育という言葉を知っており、強い関心を持つ学生も一定数存在していることも事実である。ここに加えて、消費者教育の伝え方の再定義などをしていくことで、さらに多くの学生による消費者教育活動の活性化が促される可能性を感じている。

カオスマップ案（※PowerPointで作成した試作版）

「つくる・育てる」 (農業・生産)

ボランティア	インターン	出前授業・講演
 団体名	 AgriTerra (Agriculture & Tech)	 ClearLabel (Transparent Info)
 Selecta (Curated Selection)	 Farmly (Community Farming)	 Selecta (Curated Selection)
 ReCycleHub (Resource Circulation)	 BioGrow (Biotechnology)	 ReCycleHub (Resource Circulation)

「とどける・選ぶ」 (流通・小売・フェアトレード)

ボランティア	インターン	出前授業・講演
 ClearLabel (Transparent Info)	 CommunityBridge (Local Support)	 CommunityBridge (Local Support)
 Selecta (Curated Selection)	 FoodShareLink (Food Bank)	 FoodShareLink (Food Bank)
	 FutureRoots (Sustainable Future)	 FutureRoots (Sustainable Future)
	 AgriTerra (Agriculture & Tech)	

「めぐる・支える」 (フードロス・地域づくり)

ボランティア	インターン	出前授業・講演
 FoodShareLink (Food Bank)	 CommunityBridge (Local Support)	 Selecta (Curated Selection)
 FutureRoots (Sustainable Future)	 FoodShareLink (Food Bank)	 ReCycleHub (Resource Circulation)
	 AgriTerra (Agriculture & Tech)	 AgriTerra (Agriculture & Tech)
	 Farmly (Community Farming)	
	 BioGrow (Biotechnology)	

活動団体向けアンケート回答

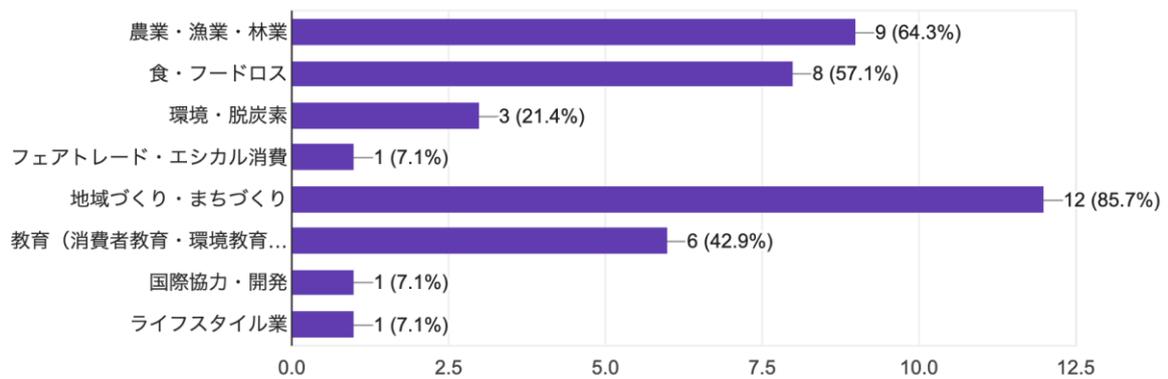
Q1. ご所属の組織の種別をご回答ください

14件の回答



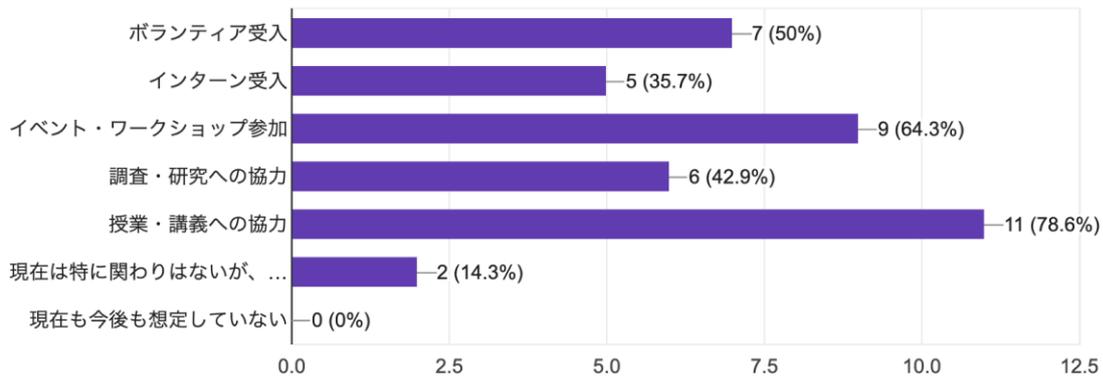
Q2. 主な活動分野・テーマを教えてください（複数選択可）

14件の回答



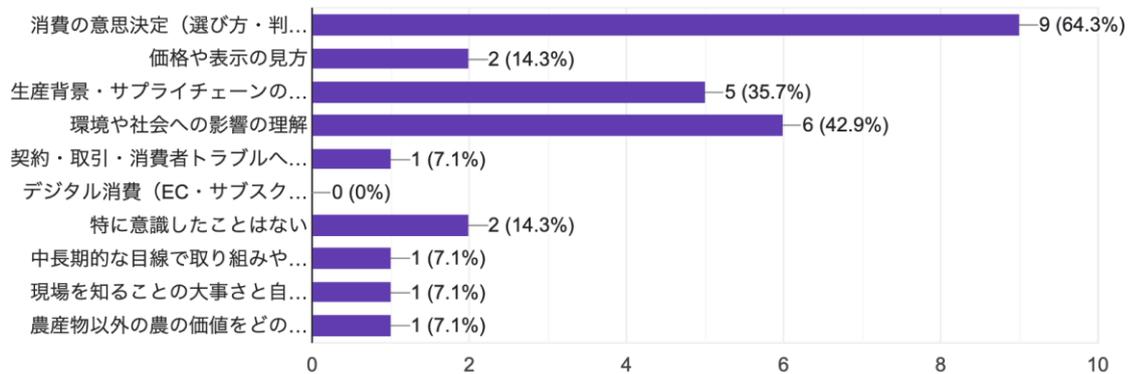
Q3. 若年層（学生・20代等）との関わり方について、該当するものを教えてください

14件の回答



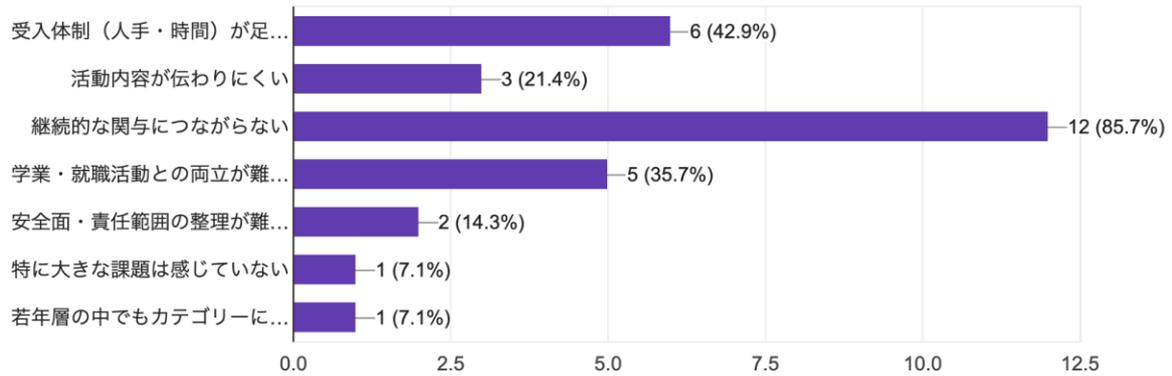
Q4. 若年層が関わることで、特に「学びにつながっている」と感じる内容はどれですか？

14件の回答



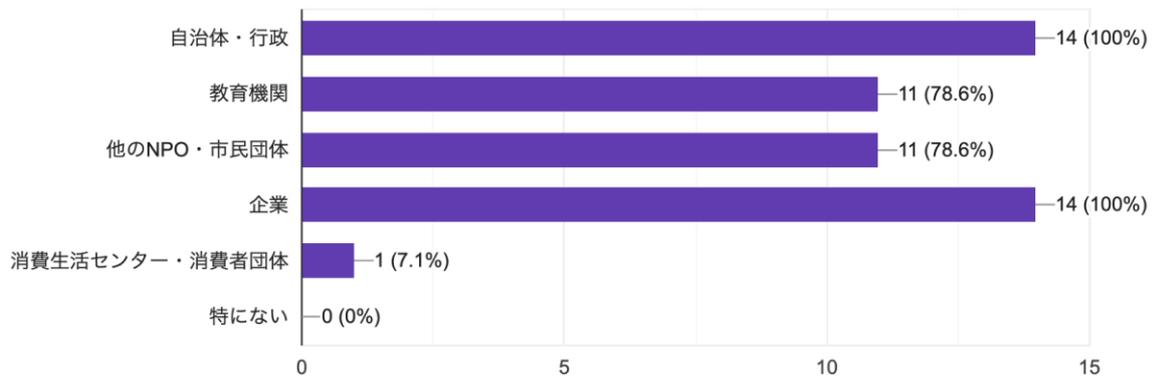
Q5. 若年層の関与を進める上で、課題だと感じていることは何ですか？

14件の回答



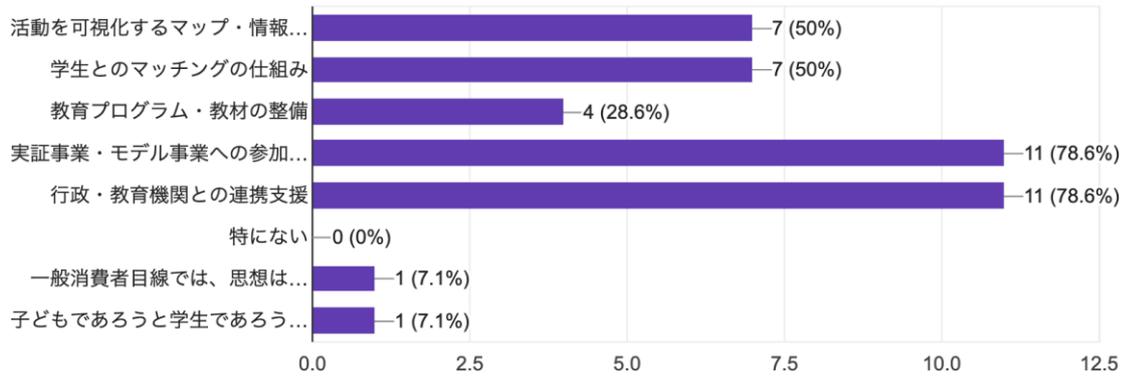
Q7. 連携している／関心のある相手先を教えてください（複数選択可）

14件の回答



Q8. 今後、消費者教育やエシカル消費に関して、期待する支援や仕組みは何ですか？

14件の回答



Q9. 今回検討している「地域資源の可視化による消費者教育モデル」に関心はありますか？

14件の回答

